

2014年度第3四半期  
決算説明資料

2015年2月5日  
旭化成株式会社

<b>1. 2014年度第3四半期実績</b>		<b>2. 2014年度業績予想</b>	
主要決算数値	P4	当期の業績予想	P16
連結損益計算書	P5	事業別売上高・営業利益予想	P17～18
特別損益	P6	新セグメント別売上高・営業利益予想	P19
連結貸借対照表	P7	<b>3. 参考資料</b>	
連結キャッシュ・フロー計算書	P8	事業別業績推移	P21～24
新セグメント別売上高・営業利益	P9～10	事業別海外売上高	P25
事業別売上高・営業利益	P11～14	連結包括利益計算書	P26
		事業別概況	P27～36

**業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項**

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。  
当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

# 1. 2014年度第3四半期実績

# 主要決算数値

AsahiKASEI

(億円)

	13年度		14年度		10-12月比較 対前年同期		4-12月比較 対前年同期		14年度 前回予想*2 b	進捗率 (a/b)
	10-12月*1	4-12月	10-12月	4-12月 a	増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	4,707	13,896	5,031	14,701	325	6.9%	804	5.8%	20,060	73.3%
営業利益	356	1,098	478	1,187	122	34.4%	89	8.1%	1,540	77.1%
経常利益	367	1,095	531	1,273	164	44.6%	177	16.2%	1,570	81.1%
四半期純利益	195	661	389	884	193	99.2%	223	33.7%	1,000	88.4%

\*1 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度10-12月の金額を遡及修正している。

\*2 2014年11月時点の予想

## <前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ:¥/kl)	67,800	65,767	66,000	68,933
為替レート (相場平均:¥/US\$)	100	99	115	107

	14/3月末	14/12月末	増減
総資産	19,151	20,772	1,621
自己資本	9,127	10,422	1,295
有利子負債残高	3,039	3,377	338
D/Eレシオ	0.33	0.32	-0.01

# 連結損益計算書

AsahiKASEI

(億円)

(%は売上高比率)	13年度		14年度		10-12月比較		4-12月比較	
	10-12月*1	4-12月	10-12月	4-12月	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	100.0% 4,707	100.0% 13,896	100.0% 5,031	100.0% 14,701	325	6.9%	804	5.8%
売上原価	72.8% 3,426	72.6% 10,083	71.4% 3,593	72.5% 10,663	167	4.9%	579	5.7%
売上総利益	27.2% 1,281	27.4% 3,813	28.6% 1,439	27.5% 4,038	158	12.3%	225	5.9%
販管費	19.7% 925	19.5% 2,715	19.1% 961	19.4% 2,851	36	3.9%	136	5.0%
営業利益	7.6% 356	7.9% 1,098	9.5% 478	8.1% 1,187	122	34.4%	89	8.1%
営業外損益	11	-3	53	85	41		88	
(内、金融収支)	(4)	(10)	(6)	(18)	(3)		(8)	
(内、持分法投資損益)	(-13)	(-31)	(5)	(17)	(18)		(48)	
(内、為替差益)	(26)	(23)	(40)	(60)	(14)		(37)	
経常利益	7.8% 367	7.9% 1,095	10.5% 531	8.7% 1,273	164	44.6%	177	16.2%
特別損益	-65	-81	-10	-10	55		71	
税前利益	6.4% 302	7.3% 1,014	10.4% 521	8.6% 1,262	219	72.3%	248	24.5%
法人税等	-106	-347	-129	-370	-23		-23	
少数株主損益	-1	-6	-4	-8	-2		-2	
四半期純利益	4.1% 195	4.8% 661	7.7% 389	6.0% 884	193	99.2%	223	33.7%

\*1 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度10-12月の金額を遡及修正している。

# 特別損益

AsahiKASEI

(億円)

	13年度		14年度		増減	
	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月
投資有価証券売却益	-	3	-	23	-	20
固定資産売却益	0	15	1	4	1	-11
特別利益	0	18	1	26	1	8
投資有価証券売却損	-	-	-	1	-	1
投資有価証券評価損	0	6	0	5	0	-1
固定資産処分損	11	25	5	17	-6	-8
減損損失	3	3	6	7	3	4
事業構造改善費用	6	20	0	6	-6	-15
開発中止に伴う損失	45	45	-	-	-45	-45
特別損失	65	99	11	37	-54	-63
特別損益	-65	-81	-10	-10	55	71

# 連結貸借対照表

AsahiKASEI

(億円)

	14/3月末	14/12月末	増減		14/3月末	14/12月末	増減
流動資産	8,904	9,630	726	負債	9,893	10,204	311
現金及び預金	1,515	1,222	-293	流動負債	5,768	5,931	163
受取手形及び売掛金	3,167	3,604	437	固定負債	4,125	4,273	147
棚卸資産	3,285	3,709	424	純資産	9,258	10,568	1,311
その他	937	1,095	159	株主資本	8,156	8,618	462
固定資産	10,247	11,142	895	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,805	5,020	214	資本剰余金	794	794	0
無形固定資産	2,584	2,872	287	利益剰余金	6,354	6,820	466
投資その他の資産	2,857	3,251	394	自己株式	-26	-30	-4
				その他の包括利益累計額	971	1,804	833
				少数株主持分	131	146	16
資産合計	19,151	20,772	1,621	負債純資産合計	19,151	20,772	1,621

# 連結キャッシュ・フロー計算書

AsahiKASEI

(億円)

	13年度		14年度	
	10-12月 <sup>*1</sup>	4-12月	10-12月	4-12月
営業活動によるキャッシュ・フロー①	137	1,009	-19	412
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-282	-776	-312	-790
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	-145	232	-331	-379
財務活動によるキャッシュ・フロー④	108	-239	336	-64
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	30	48	37	56
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	-7	41	42	-387

現金及び現金同等物の期首残高⑦	1,093	1,040	1,004	1,431
連結の範囲の変更に伴う増加額⑧	-	5	5	6
現金及び現金同等物の四半期末残高(⑥+⑦+⑧)	1,086	1,086	1,050	1,050

\*1 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度10-12月の金額を遡及修正している。

# 新セグメント別<sup>\*1</sup>売上高・営業利益(1)

## (第3四半期・10-12月比較)

AsahiKASEI

(億円)

	売上高			営業利益		
	13年度 10-12月	14年度 10-12月	増減	13年度 10-12月 <sup>*2</sup>	14年度 10-12月	増減
ケミカル・繊維	2,314	2,508	194	123	206	83
住宅・建材	1,368	1,384	15	141	131	-10
エレクトロニクス	366	399	32	36	59	23
ヘルスケア	613	696	83	93	118	24
その他	45	46	1	2	2	0
消去又は全社	-	-	-	-39	-38	2
合 計	4,707	5,031	325	356	478	122

\*1 2014年度より、これまでの「ケミカル」、「繊維」、「住宅」、「建材」、「エレクトロニクス」、「医薬・医療」、「クリティカルケア」の7つの報告セグメント区分から、「ケミカル・繊維」、「住宅・建材」、「エレクトロニクス」、「ヘルスケア」の4つの報告セグメント区分による開示に変更した。新セグメントの営業利益は、各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。尚、従来の「医薬・医療」セグメントおよび「クリティカルケア」セグメントは「ヘルスケア」セグメントとして開示している。

\*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度10-12月の金額を遡及修正している。

# 新セグメント別\*1売上高・営業利益(2)

## (9ヶ月累計・4-12月比較)

(億円)

	売上高			営業利益		
	13年度 4-12月	14年度 4-12月	増減	13年度 4-12月	14年度 4-12月	増減
ケミカル・繊維	6,882	7,283	400	399	472	73
住宅・建材	4,030	4,208	178	437	419	-18
エレクトロニクス	1,113	1,139	25	128	133	4
ヘルスケア	1,746	1,910	164	237	268	31
その他	125	162	37	10	9	-1
消去又は全社	-	-	-	-112	-112	-0
合 計	13,896	14,701	804	1,098	1,187	89

\*1 2014年度より、これまでの「ケミカル」、「繊維」、「住宅」、「建材」、「エレクトロニクス」、「医薬・医療」、「クリティカルケア」の7つの報告セグメント区分から、「ケミカル・繊維」、「住宅・建材」、「エレクトロニクス」、「ヘルスケア」の4つの報告セグメント区分による開示に変更した。新セグメントの営業利益は、各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。尚、従来の「医薬・医療」セグメントおよび「クリティカルケア」セグメントは「ヘルスケア」セグメントとして開示している。

# 事業別\*1売上高・営業利益増減要因 (第3四半期・10-12月比較)(1)

AsahiKASEI

(億円)

		13年度 10-12月	14年度 10-12月	増減	内訳				
					数量差	売値差	その他差	コスト差等	うち為替因
ケミカル	売上高	2,014	2,179	165	83	47	91	35	-
	営業利益	100	180	81	18				
繊維	売上高	301	329	29	19	9	8	-	-
	営業利益	23	26	3	7				
住宅	売上高	1,218	1,242	24	15	50	-	-41	-
	営業利益	122	119	-4	5				
建材	売上高	150	141	-9	-11	2	-	-	-
	営業利益	20	14	-6	-4				
エレクトロニクス	売上高	366	399	32	48	-15	26	-	-
	営業利益*2	36	59	23	33				

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

\*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度10-12月の金額を遡及修正している。

# 事業別\*1売上高・営業利益増減要因 (第3四半期・10-12月比較)(2)

AsahiKASEI

(億円)

		13年度 10-12月	14年度 10-12月	増減	内訳				
					数量差	売値差		その他差	コスト差等
						うち為替因			
医薬・医療	売上高	412	397	-14	-8	-7	7	-	-
	営業利益	100	93	-7	-10			-	9
クリティカルケア	売上高	201	298	97	64			28	-
	営業損益	-7	24	31	43	6	-2	-	-18
その他	売上高	45	46	1	1			-	-
	営業利益	2	2	0	1	-	-	-	-1
消去又は全社	営業損失	-40	-39	1	-	-	-	-	1
合計	売上高	4,707	5,031	325	212			22	-
	営業利益*2	356	478	122	95	91	130	-	-64

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

\*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度10-12月の金額を遡及修正している。

# 事業別\*1売上高・営業利益増減要因 (9ヶ月累計・4-12月比較)(1)

AsahiKASEI

(億円)

		13年度 4-12月	14年度 4-12月	増減	内訳				
					数量差	売値差	その他差	コスト差等	うち為替因
ケミカル	売上高	5,984	6,310	326	133	107	152	86	-
	営業利益	331	400	69	11			-	-49
繊維	売上高	899	973	74	45	19	14	10	-
	営業利益	67	73	6	11			-	-25
住宅	売上高	3,602	3,802	200	50	132	-	17	-
	営業利益	388	388	0	10			-	-142
建材	売上高	428	406	-22	-27	5	-	-	-
	営業利益	51	35	-16	-6			-	-15
エレクトロニクス	売上高	1,113	1,139	25	87	-62	43	-	-
	営業利益	128	133	4	60			-	6

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

# 事業別\*1売上高・営業利益増減要因 (9ヶ月累計・4-12月比較)(2)

AsahiKASEI

(億円)

		13年度 4-12月	14年度 4-12月	増減	内訳				
					数量差	売値差	その他差	コスト差等	うち為替因
医薬・医療	売上高	1,170	1,130	-40	-13	-27	16	-	-
	営業利益	264	240	-24	-16			-	19
クリティカルケア	売上高	576	780	203	162	-2	-0	44	-
	営業損益	-27	27	54	119			-	-63
その他	売上高	125	162	37	37	-	-	-	-
	営業利益	10	9	-1	4			-	-5
消去又は全社	営業損失	-114	-117	-4	-	-	-	-	-4
合計	売上高	13,896	14,701	804	475	172	224	157	-
	営業利益	1,098	1,187	89	193			-	-276

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

## 2. 2014年度業績予想

# 当期の業績予想

AsahiKASEI

(億円)

	13年度			14年度					14年度 前回予想*2
	上期*1	下期*1	計	上実績	下予想		計		
					10-12月	1-3月			
売上高	9,190	9,788	18,978	9,669	5,031	5,209	10,241	19,910	20,060
営業利益	742	691	1,433	709	478	393	871	1,580	1,540
経常利益	728	701	1,429	742	531	367	898	1,640	1,570
当期純利益	466	547	1,013	495	389	146	535	1,030	1,000

\*1 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度上期および下期の金額を遡及修正している。

\*2 2014年11月時点の予想

## <前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ:¥/kl)	64,750	69,900	67,325	70,400	66,000	45,000	55,500	62,950	67,200
為替レート (相場平均:¥/US\$)	99	102	100	103	115	115	115	109	104

	13年度	14年度
一株当たり年間配当金	17円	18円 (予定)
配当性向	23.5%	24.4%

# 事業別<sup>\*1</sup>売上高予想

AsahiKASEI

(億円)

	13年度			14年度今回予想					14年度 前回予想 <sup>*2</sup> b	増減 a-b
	上期	下期	計	上実績	下予想		計 a			
					10-12月	1-3月				
ケミカル	3,970	3,946	7,916	4,131	2,179	1,960	4,139	8,270	8,470	-200
繊維	598	611	1,209	644	329	337	666	1,310	1,290	20
住宅	2,384	2,960	5,344	2,560	1,242	1,708	2,950	5,510	5,510	-
建材	278	272	550	265	141	124	265	530	550	-20
エレクトロニクス	747	703	1,450	740	399	381	780	1,520	1,500	20
医薬・医療	758	768	1,525	733	397	340	737	1,470	1,500	-30
クリティカルケア	375	423	798	481	298	310	609	1,090	1,030	60
その他	80	105	185	116	46	48	94	210	210	-
合計	9,190	9,788	18,978	9,669	5,031	5,209	10,241	19,910	20,060	-150

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

\*2 2014年11月時点の予想

# 事業別<sup>\*1</sup>営業利益予想

AsahiKASEI

(億円)

	13年度			14年度今回予想					14年度 前回予想 <sup>*3</sup> b	増減 a-b
	上期 <sup>*2</sup>	下期 <sup>*2</sup>	計	上実績	下予想		計 a			
					10-12月	1-3月				
ケミカル	232	157	389	220	180	140	320	540	520	20
繊維	44	42	86	47	26	22	48	95	90	5
住宅	265	364	630	270	119	197	315	585	580	5
建材	31	24	55	21	14	5	19	40	40	-
エレクトロニクス	93	50	142	74	59	27	86	160	150	10
医薬・医療	164	139	303	147	93	25	118	265	275	-10
クリティカルケア	-20	-15	-35	3	24	13	37	40	25	15
その他	8	9	17	7	2	6	8	15	15	-
消去又は全社	-73	-80	-153	-78	-39	-43	-82	-160	-155	-5
合計	742	691	1,433	709	478	393	871	1,580	1,540	40

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

\*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度第1期および下期の金額を遡及修正している。

\*3 2014年11月時点の予想

# 新セグメント別\*1売上高・営業利益予想

AsahiKASEI

## <売上高>

(億円)

	13年度			14年度					14年度 前回予想*2 b	増減 a-b
	上	下	計	上実績	下予想			計 a		
					10-12月	1-3月				
ケミカル・繊維	4,568	4,557	9,125	4,775	2,508	2,297	4,805	9,580	9,760	-180
住宅・建材	2,662	3,232	5,894	2,825	1,384	1,832	3,215	6,040	6,060	-20
エレクトロニクス	747	703	1,450	740	399	381	780	1,520	1,500	20
ヘルスケア	1,133	1,191	2,324	1,214	696	650	1,346	2,560	2,530	30
その他	80	105	185	116	46	48	94	210	210	-
合計	9,190	9,788	18,978	9,669	5,031	5,209	10,241	19,910	20,060	-150

## <営業利益>

(億円)

	13年度			14年度					14年度 前回予想*2 b	増減 a-b
	上*3	下*3	計	上実績	下予想			計 a		
					10-12月	1-3月				
ケミカル・繊維	276	199	474	266	206	163	369	635	610	25
住宅・建材	296	389	685	288	131	206	337	625	620	5
エレクトロニクス	93	50	142	74	59	27	86	160	150	10
ヘルスケア	143	124	267	150	118	37	155	305	300	5
その他	8	9	17	7	2	6	8	15	15	-
消去又は全社	-73	-80	-153	-75	-38	-48	-85	-160	-155	-5
合計	742	691	1,433	709	478	393	871	1,580	1,540	40

\*1 2014年度より、これまでの「ケミカル」、「繊維」、「住宅」、「建材」、「エレクトロニクス」、「医薬・医療」、「クリティカルケア」の7つの報告セグメント区分から、「ケミカル・繊維」、「住宅・建材」、「エレクトロニクス」、「ヘルスケア」の4つの報告セグメント区分による開示に変更した。新セグメントの営業利益は、各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。尚、従来の「医薬・医療」セグメントおよび「クリティカルケア」セグメントは「ヘルスケア」セグメントとして開示している。

\*2 2014年11月時点の予想

\*3 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度上期および下期の金額を遡及修正している。

## 3. 参考資料

# 事業別\*1売上高・営業利益(1)

## (第3四半期・10－12月比較)

AsahiKASEI

(億円)

	売上高			営業利益		
	13年度 10-12月	14年度 10-12月	増減	13年度 10-12月*2	14年度 10-12月	増減
ケミカル	2,014	2,179	165	100	180	81
繊維	301	329	29	23	26	3
住宅	1,218	1,242	24	122	119	-4
建材	150	141	-9	20	14	-6
エレクトロニクス	366	399	32	36	59	23
医薬・医療	412	397	-14	100	93	-7
クリティカルケア	201	298	97	-7	24	31
その他	45	46	1	2	2	0
消去又は全社	-	-	-	-40	-39	1
合 計	4,707	5,031	325	356	478	122
海外売上高	1,494	1,781	287			
(比率)	31.7%	35.4%	3.7%			

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

\*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度10-12月の金額を遡及修正している。

# 事業別\*1売上高・営業利益(2)

## (9ヶ月累計・4-12月比較)

(億円)

	売上高			営業利益		
	13年度 4-12月	14年度 4-12月	増減	13年度 4-12月	14年度 4-12月	増減
ケミカル	5,984	6,310	326	331	400	69
繊維	899	973	74	67	73	6
住宅	3,602	3,802	200	388	388	0
建材	428	406	-22	51	35	-16
エレクトロニクス	1,113	1,139	25	128	133	4
医薬・医療	1,170	1,130	-40	264	240	-24
クリティカルケア	576	780	203	-27	27	54
その他	125	162	37	10	9	-1
消去又は全社	-	-	-	-114	-117	-4
合 計	13,896	14,701	804	1,098	1,187	89
海外売上高	4,601	5,036	436			
(比率)	33.1%	34.3%	1.2%			

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

# 事業別\*1売上高推移

AsahiKASEI

(億円)

	13年度				14年度			14年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q 予想
ケミカル	1,931	2,039	2,014	1,932	1,969	2,162	2,179	1,960
繊維	288	310	301	310	309	335	329	337
住宅	984	1,400	1,218	1,742	1,055	1,505	1,242	1,708
建材	131	147	150	122	123	142	141	124
エレクトロニクス	365	382	366	337	358	382	399	381
医薬・医療	383	375	412	356	357	375	397	340
クリティカルケア	178	198	201	222	233	249	298	310
その他	40	40	45	60	69	48	46	48
合 計	4,300	4,890	4,707	5,081	4,471	5,198	5,031	5,209

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

# 事業別\*1 営業損益推移

AsahiKASEI

(億円)

	13年度				14年度			14年度
	1Q*2	2Q*2	3Q*2	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q 予想
ケミカル	102	130	100	57	71	149	180	140
繊維	22	22	23	18	22	25	26	22
住宅	66	199	122	242	84	185	119	197
建材	13	17	20	5	9	12	14	5
エレクトロニクス	38	55	36	14	40	34	59	27
医薬・医療	90	74	100	39	81	66	93	25
クリティカルケア	-15	-5	-7	-8	-3	6	24	13
その他	4	4	2	8	4	3	2	6
消去又は全社	-37	-36	-40	-40	-42	-36	-39	-43
合 計	283	459	356	335	266	443	478	393

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

\*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度第1四半期、第2四半期および第3四半期の金額を遡及修正している。

# 事業別\*1海外売上高 (9ヶ月累計・4-12月比較)

AsahiKASEI

(億円)

	13年度4-12月			14年度4-12月			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率		金額	比率	金額	伸び率
ケミカル	5,984	2,695	45.0%	6,310	2,854	45.2%	159	5.9%
繊維	899	358	39.8%	973	401	41.2%	43	12.0%
住宅	3,602	-	-	3,802	-	-	-	-
建材	428	-	-	406	-	-	-	-
エレクトロニクス	1,113	699	62.7%	1,139	724	63.6%	25	3.6%
医薬・医療	1,170	271	23.2%	1,130	279	24.7%	8	2.8%
クリティカルケア	576	573	99.4%	780	772	99.0%	199	34.8%
その他	125	5	4.1%	162	7	4.3%	2	37.0%
合 計	13,896	4,601	33.1%	14,701	5,036	34.3%	436	9.5%
東アジア地域*2への売上高		2,611	18.8%		2,723	18.5%	112	4.3%
(内、中国への売上高)		1,459	10.5%		1,509	10.3%	50	3.4%

<参考>

住宅・建材を除いた売上高 9,866 4,601 46.6% 10,493 5,036 48.0%

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

\*2 中国、韓国、台湾

# 連結包括利益計算書

AsahiKASEI

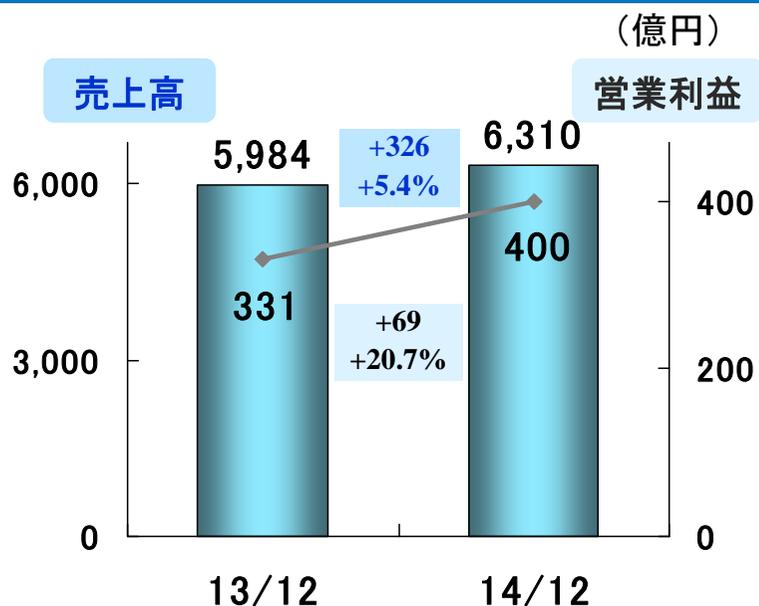
(億円)

	13年度 4-12月	14年度 4-12月	増減
少数株主損益調整前四半期純利益①	667	892	225
その他有価証券評価差額金	228	250	22
繰延ヘッジ損益	4	0	-4
為替換算調整勘定	386	519	133
退職給付に係る調整額	-	28	28
持分法適用会社に対する持分相当額	18	45	27
その他の包括利益合計②	636	842	206
四半期包括利益(①+②)	1,303	1,734	430

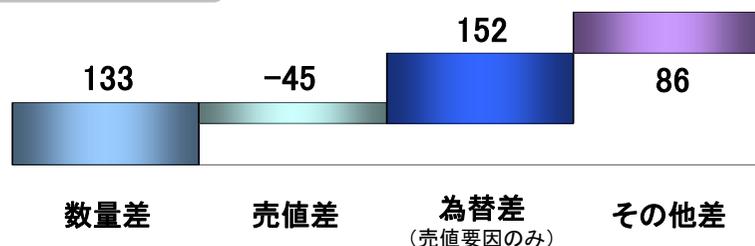
(内訳)

親会社株主に係る四半期包括利益	1,292	1,716	424
少数株主に係る四半期包括利益	11	18	6

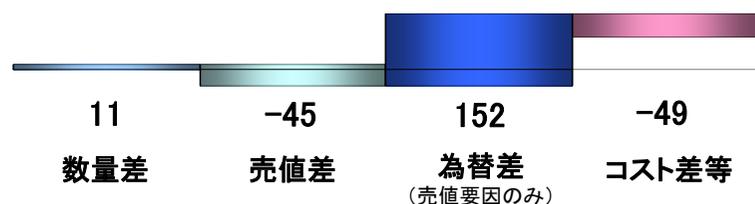
# ケミカル概況(4-12月累計)



## 売上高増減分析



## 営業利益増減分析



## <概況>

### ・石油化学系事業

スチレンモノマーの市況が悪化したが、国内石油化学事業の基盤強化の効果やアクリロニトリルの市況が改善したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

### ・高機能ポリマー系事業

円安の効果に加え、エンジニアリング樹脂の販売が堅調に推移したものの、合成ゴムは汎用品の市況悪化の影響を受けたことなどから、前年同期比増収、営業利益は前年並みとなった。

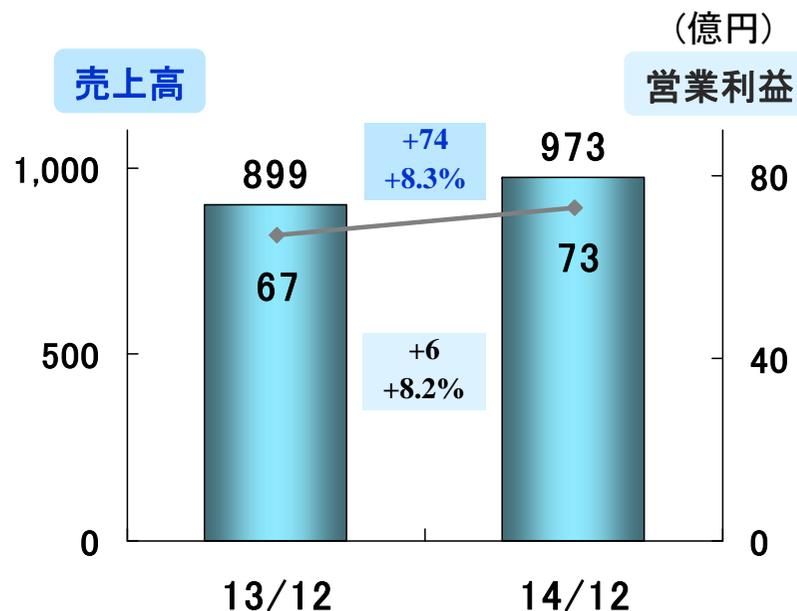
### ・高付加価値系事業

イオン交換膜の販売が堅調に推移したが、「サランラップ」を中心とした消費財製品で消費税増税前の駆け込み需要の反動の影響を受けたことなどから、前年同期比増収、減益となった。

## <トピックス>

- ・米国において樹脂コンパウンドの第二工場を新設することを決定。(5月)
- ・複屈折ゼロを実現した光学用新規透明樹脂「AZP」を開発し、生産設備を新設することを決定。(6月)
- ・中国におけるポリカーボネートジオール(PCD)「デュラノール」の生産設備が稼働を開始。(11月)
- ・ポリカーボネート樹脂の原料であるジフェニルカーボネート(DPC)の新製法として、二酸化炭素とアルコールから製造するジアルキルカーボネート(DRC)を経由した製造プロセスを開発。水島製造所内に実証プラントを建設することを決定。(1月)

# 繊維概況(4-12月累計)



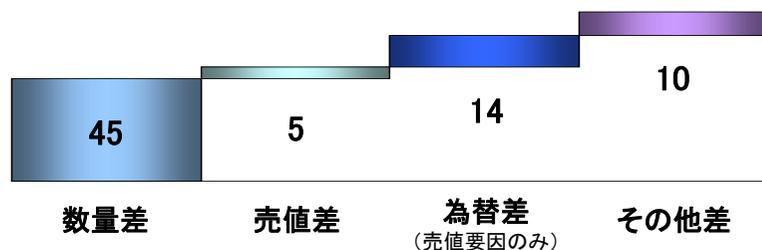
## <概況>

スパンボンド不織布やナイロン66繊維「レオナ」でナフサなどの原燃料価格高騰の影響を受けたことに加え、再生セルロース繊維「ベンベルグ」の新製造設備の償却費が増加したものの、フェイスマスク向けなどの長繊維セルロース不織布「ベンリーゼ」やポリウレタン弾性繊維「ロイカ」の販売が堅調に推移したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

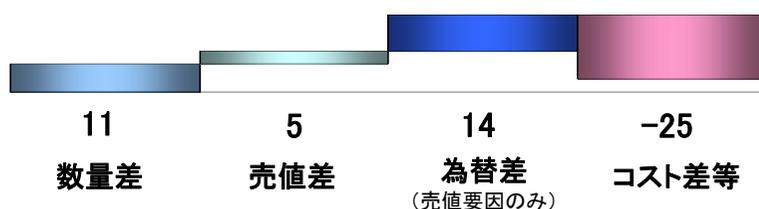
## <トピックス>

- ・タイにおけるスパンボンド不織布製造設備の増設を決定。(5月)
- ・「ベンベルグ」の製造設備の増設が完了し、商業運転を開始。(6月)
- ・「ロイカ」を用いた伸縮する電線「ロボ電」の販売開始。(9月)
- ・「ベンベルグ裏地ミュージアム+」を開設。(10月)
- ・免疫クロマト診断薬などの発色剤用途として、セルロースナノ微粒子「ナノアクト」の本格生産・販売を開始。(12月)

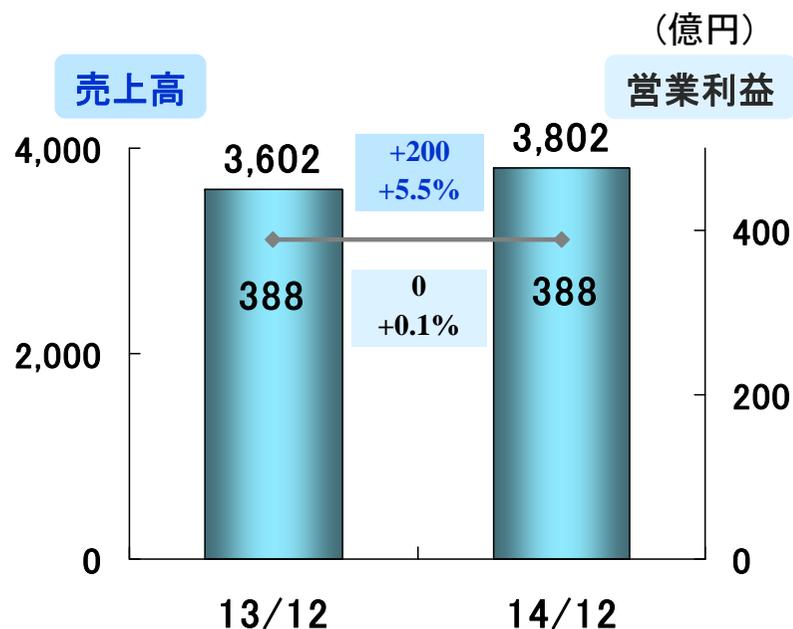
### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析



# 住宅概況(4-12月累計)



## 事業別増減分析

(億円)

事業別	13/12		14/12		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負部門 (旭化成ホームズ)	2,663	297	2,785	280	122	▲17
不動産部門 (旭化成不動産レジデンス)	545	35	604	47	60	12
リフォーム部門 (旭化成リフォーム)	382	47	396	44	15	▲3
その他住宅周辺事業等	13	9	16	17	3	8
合計	3,602	388	3,802	388	200	0

## <概況>

### ・建築請負部門

- ・前年度の好調な受注実績を背景に、集合住宅「ヘーベルメゾン」を中心に引渡戸数が増加したものの、広告宣伝費が増加したことなどから、前年同期比増収、営業利益は前年並みとなった。
- ・建築請負事業の受注高は、足元では消費税増税前の駆け込み需要の反動から回復基調であるものの、前年度の受注水準が高かったことを受け、前年同期比2.2%の受注減となった。

### ・不動産部門、リフォーム部門等

リフォーム部門で消費税増税前の駆け込み需要の反動により受注が減少したが、不動産部門で賃貸管理事業が堅調に推移したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

## <トピックス>

- ・重量鉄骨3階建て住宅「ヘーベルハウス フレックス」に、新開発の震動の吸収性に優れたオイルダンパーを組み込んだ制震装置「サイレス」を標準採用。(5月)
- ・重量鉄骨3階建て住宅のフレックスシリーズに切妻形状を導入し、外観バリエーションを拡充するとともに、空間自由度の向上を図った「ヘーベルハウス カットアンドケーブル」を発売。(8月)

# 住宅／売上高\*1、受注高の状況

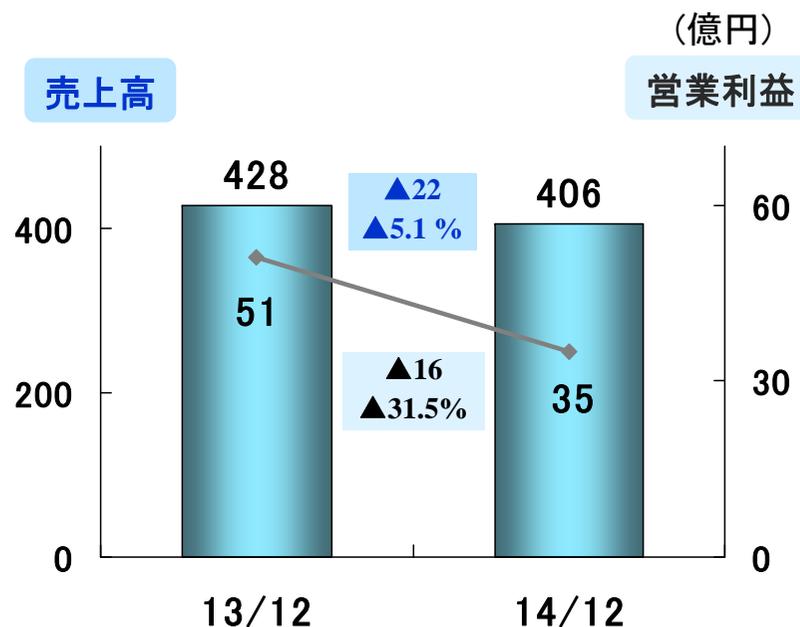
(単位:億円、( )内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高	他	関係会社等	連結計	受注残
10	上期	1,817 (17.6%)	1,255 (8.3%)	94 (79.8%)	11	375 (4.8%)	1,735 (10.0%)	3,634
	下期	1,728 (13.4%)	1,766 (6.1%)	184 (▲31.7%)	15	392 (4.5%)	2,357 (1.6%)	3,595
	通期	3,545 (15.5%)	3,021 (7.0%)	278 (▲13.6%)	25	768 (4.6%)	4,092 (5.0%)	
11	上期	1,894 (4.2%)	1,459 (16.3%)	119 (26.5%)	15	406 (8.3%)	2,000 (15.2%)	4,030
	下期	1,825 (5.6%)	1,937 (9.7%)	118 (▲35.7%)		465 (14.2%)	2,520 (6.9%)	3,918
	通期	3,719 (4.9%)	3,396 (12.4%)	237 (▲14.7%)		887 (11.8%)	4,520 (10.4%)	

		請負受注高	建築請負 部門売上高	不動産 部門売上高				リフォーム 部門売上高	他	連結計	受注残
				分譲	賃貸	他	合計				
12	上期	2,075 (9.5%)	1,614	44	233	11	288	216	12	2,130 (6.5%)	4,415
	下期	2,049 (12.3%)	2,059	162	245	11	419	247	7	2,731 (8.4%)	4,446
	通期	4,124 (10.9%)	3,673	206	478	22	706	463	19	4,862 (7.6%)	
13	上期	2,519 (21.4%)	1,810 (12.1%)	45	262	14	321	245	8	2,384 (11.9%)	5,199
	3Q	692 (▲21.4%)	853 (2.2%)	85	134	5	224	136	5	1,218 (3.8%)	5,059
	下期	1,694 (▲17.3%)	2,131 (3.5%)	248	279	11	537	281	11	2,960 (8.4%)	4,815
	通期	4,213 (2.2%)	3,941 (7.3%)	293	541	25	858	526	19	5,344 (9.9%)	
14	上期	2,176 (▲13.6%)	1,879 (3.9%)	98	293	14	406	263	11	2,560 (7.4%)	5,163
	3Q	964 (39.4%)	906 (6.2%)	37	153	8	198	133	5	1,242 (2.0%)	5,248
	下予	2,244 (32.5%)	2,156 (1.2%)	182	317	21	519	272	4	2,950 (▲0.3%)	5,315
	通期見通し	4,420 (4.9%)	4,035 (2.4%)	280	610	35	925	535	15	5,510 (3.1%)	

\*1 2012年度より「建築請負部門」、「不動産部門」、「リフォーム部門」の区分にて表示。従来の分譲事業売上高は、建築請負部門と不動産部門に分けて算入。

# 建材概況(4-12月累計)



## <概況>

軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベル」が順調に販売量を伸ばしたが、高性能フェノールフォーム断熱材「ネオマフォーム」において販売量が消費税増税前の駆け込み需要の反動で減少したことに加え、新製造設備の償却費が増加したことなどから、前年同期比減収、減益となった。

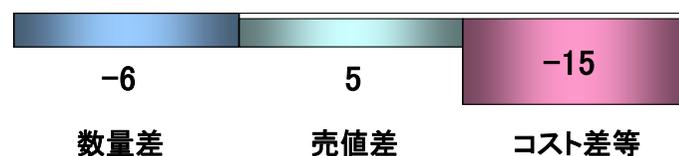
## <トピックス>

- ・住みながらの施工が可能な断熱リフォーム専用ボード「ネオマ断熱ボード」を発売。(6月)

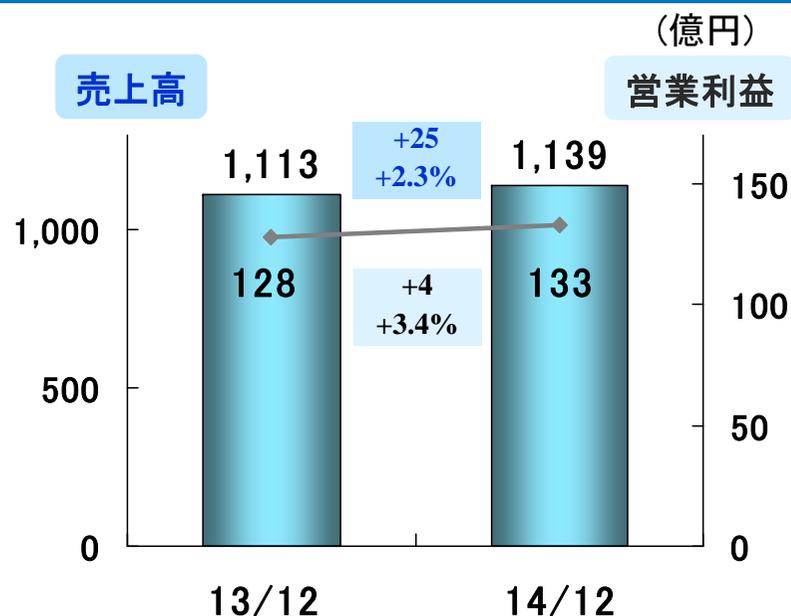
### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析



# エレクトロニクス概況(4-12月累計)



## <概況>

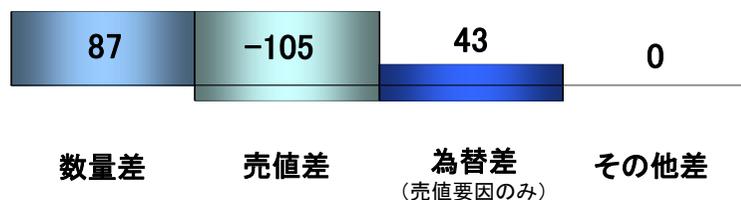
### ・電子部品系事業

円安の効果に加え、電子コンパスなどのスマートフォン向け電子部品の販売が順調に推移したが、水晶発振器用ICの販売量が減少したことなどから、前年同期比増収、営業利益は前年並みとなった。

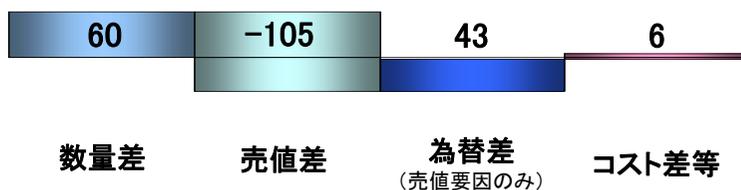
### ・電子材料系事業

リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア」の販売価格が下落したものの、円安の効果や各製品における高機能領域の販売が順調に推移したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

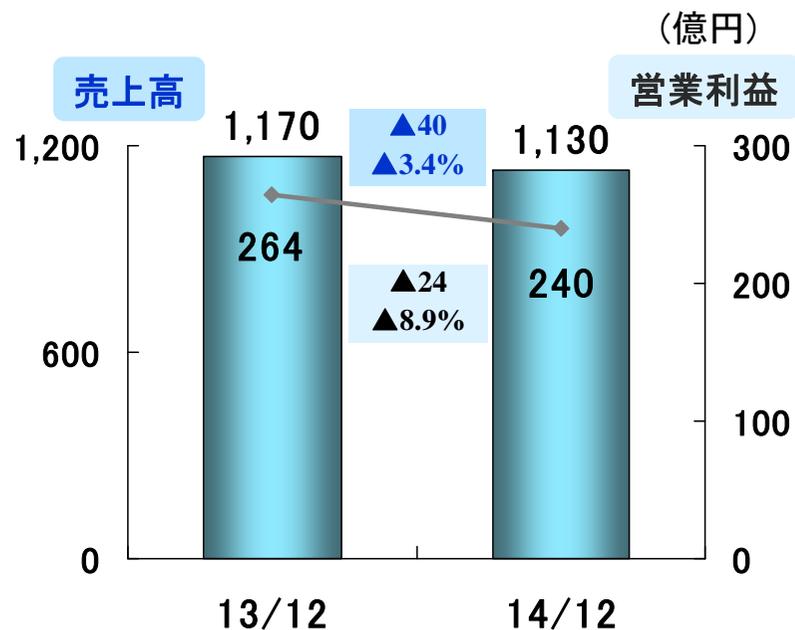
### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析



# 医薬・医療概況(4-12月累計)



## <概況>

### ・医薬事業

既存医薬品において薬価改定による価格下落の影響を受けたことや、消費税増税前の駆け込み需要の反動により骨粗鬆症治療剤「テリボン」や血液凝固阻止剤「リコモジュリン」の販売量が減少したことなどから、前年同期比減収、減益になった。

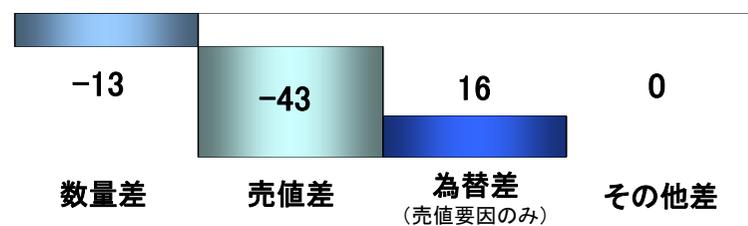
### ・医療事業

円安の効果に加え、透析関連製品やアフェレシス(血液浄化療法)関連製品の販売が堅調に推移し、ウイルス除去フィルター「プラノバ」の販売量が増加したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

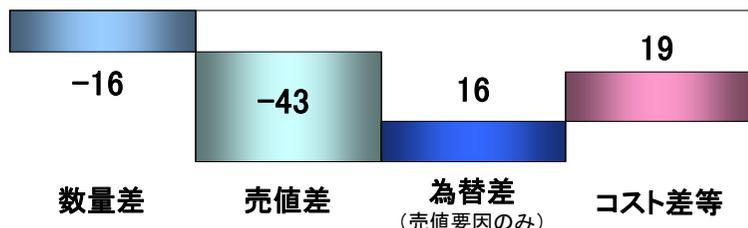
## <トピックス>

- ・トロンボモジュリン製剤「リコモジュリン 点滴静注用12800」(一般名:トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え))の原薬を製造する新棟を静岡県・富士市に建設することを決定。(5月)
- ・デュピュイトラン拘縮治療薬「ザイヤフレックス」について、国内での製造販売承認を申請。(7月)
- ・「テリボン」に関して、東亜ST(株)に韓国における独占的開発・販売権を供与するライセンス契約を締結。(12月)

### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析



# 医薬・医療／売上高内訳

(億円)

		13年度			14年度	
		10-12月	4-12月	年間	14年度	
					10-12月	4-12月
医薬事業	国内医薬	224	633	822	208	589
	その他	17	50	58	16	40
	計	241	682	880	224	629
医療事業		171	488	645	174	501
医薬・医療 計		412	1,170	1,525	397	1,130

<主要医薬品の国内売上高>

(億円)

	13年度			14年度	
	10-12月	4-12月	年間	14年度	
				10-12月	4-12月
テリボン	72	200	269	69	194
フリバス	39	109	142	36	101
リコモジュリン	39	97	126	37	92
エルシトニン	20	63	79	15	48
ブレディニン	17	49	63	15	43

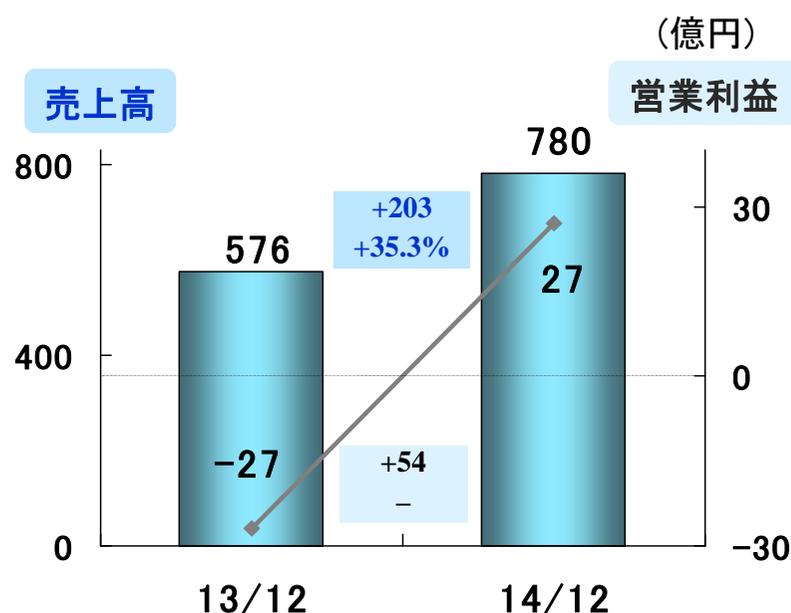
# 医薬／研究開発の状況

		開発コード・剤型 (一般名)	区 分	薬 効・分 類	適 応 症	自社/導入	備考
国 内	申請中の品目	AK-160注	新成分新薬	細菌由来の コラゲナーゼ製剤	デュピュイトラン 拘縮	導入	
	フェーズⅢの品目	AK-156注 (ゾレドロン酸水和物)	新効能・新用量 医薬品	骨吸収抑制剤 (ビスフォスフォネート)	骨粗鬆症	導入	年1回 投与
	フェーズⅡの品目	AT-877錠 (ファスジル塩酸塩水和物)	適応拡大 剤型追加	ローキナーゼ阻害剤	肺高血圧症	自社	
		HC-58注 (エルカトニン)	適応拡大	カルシトニン製剤	肩手症候群	自社	
海 外	フェーズⅢの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ 遺伝子組換え)	新成分新薬	血液凝固阻止剤	凝固異常を伴う 重症敗血症	自社	
		HE-69 (ミゾリピン)	適応拡大	免疫抑制剤	ループス腎炎 ネフローゼ症候群	自社	
	フェーズⅡの品目	AK106	新成分新薬	抗炎症剤	関節リウマチ	自社	

探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科領域や泌尿器領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

# クリティカルケア概況(4-12月累計)



## <概況>

営業活動強化に伴う販管費が増加したが、着用型自動除細動器「LifeVest(ライフベスト)」の業績が引き続き順調に拡大し、その他の除細動器などの販売も堅調に推移したことから、増収、増益となった。

## <トピックス>

- ・医療機関向け除細動器「R Series」の日本国内での製造販売承認を取得。(6月)
- ・呼吸管理機器メーカーである米国Impact Instrumentation社の実質的全資産を買収することで合意し、資産売買契約を締結。(10月)
- ・オランダRoyal Philips社の「InnerCool」体温管理システム事業と事業に関連する実質的全資産買収することで合意し、事業譲渡契約を締結。(11月)
- ・日本国内において血管内体温管理システム「サーモガード」の適応拡大の薬事承認を医薬品医療機器総合機構に申請。(11月)
- ・心肺蘇生補助デバイスの胸腔内圧制御機器の製造・販売を行う米国Advanced Circulatory Systems社の買収契約を締結。(12月)

## <参考:クリティカルケアセグメント業績推移>

(億円)

	13年度			14年度		
	10-12月	4-12月	年間	14年度		年間 予想
				10-12月	4-12月	
売上高(連結)	201	576	798	298	780	1,090
事業利益	25	71	95	60	126	174
のれん償却額	-18	-53	-71	-21	-57	-78
無形固定資産償却額等	-14	-45	-59	-15	-41	-55
償却額合計	-32	-98	-130	-35	-98	-134
営業利益(連結)	-7	-27	-35	24	27	40